

研究主題

確かな学力をつける少人数・複式指導の工夫 ～学習者主体の授業を目指した学習指導法の工夫改善を通して～

仮説 1

1 単位時間のねらいを明らかにするとともに、児童一人一人の実態に応じた指導法の工夫改善を行い、学び合いの場を充実すれば、児童が主体的・協働的に学習に取り組み、確かな学力を身に付けることができるのではないだろうか。

視点

- ・ ねらいの明確化（主体性）
- ・ 児童の思考の流れに応じた導入の工夫（主体性）
- ・ 多様な考えを認め合う学び合いの場の工夫（協働性）

仮説 2

ガイドの育成やフォロアーの学び方の育成を図るならば、聞く力や相手に伝える力が育ち、学習の流れに見通しを持って、主体的に学習に取り組む姿勢を身に付けることができるのではないだろうか。

視点

- ・ ガイドモデルの作成
- ・ チャレンジタイムを活用したガイド・フォロアーの学び方の育成
- ・ 学習の進め方・見通しの共有